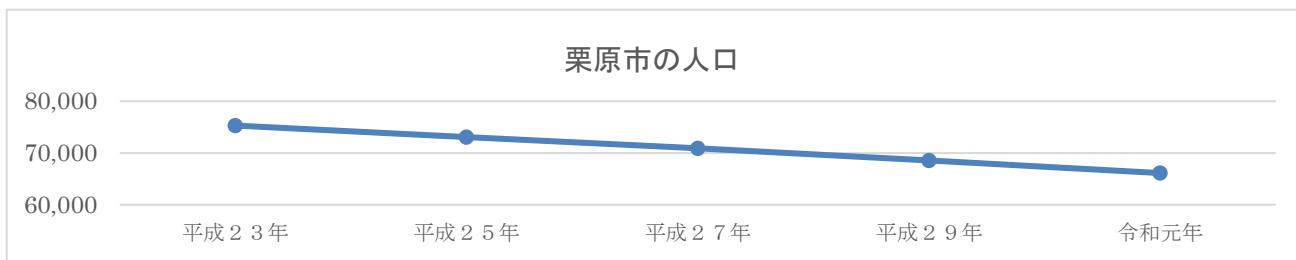
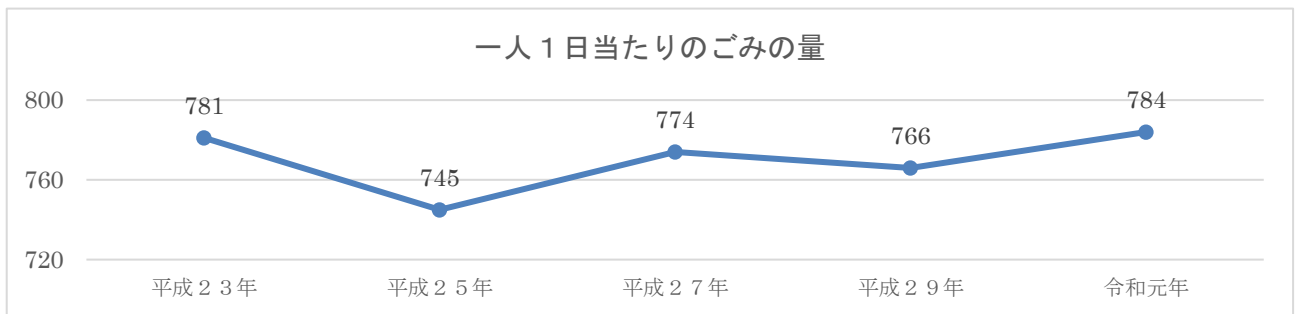


みんなができる

「ごみの減量」と「リサイクル」の取り組み

栗原市のごみは、人口が減っているにもかかわらず、ごみの量は変わりません。
このままでは、最終処分場が一杯になり、次の世代に引き継ぐことが出来なくなります。
燃やせるごみの中には、多くの生ごみやプラスチック類が含まれ、身近な取り組みでリサイクル、または削減することができます。



栗原市では「5R」を推進しています！

循環型社会を実現するため、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）」の取り組みに、リフューズ（不要なものは買わない）とリペア（修理しながら使う）を追加し、「5R」を推進し、ごみの削減やリサイクルに取り組んでいきます。

リデュース
Reduce
ごみの排出を減らす



リフューズ
Refuse
不要な物は買わない



リペア
Repair
修理しながら使う



リユース
Reuse
再利用する



リサイクル
Recycle
再資源化する



栗原市市民生活部環境課

T E L 0228-22-3350 U R L : <http://www.kuriharacity.jp/>



○食品ロスの削減

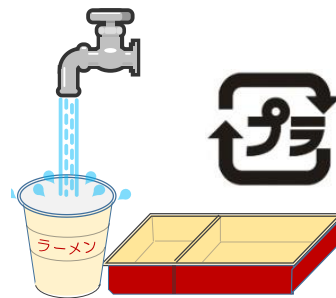
- ・食材を買いすぎず、買った食べ物は使い切るようにしましょう。
 - ・期限表示が古いものから使用し、おいしい間に食べきりましょう。
 - ・料理は食べられる量だけ作るように心がけましょう。
 - ・野菜や果物の皮は厚むきしないようにしましょう。
 - ・外食などの際は、ちょうど良い量を注文するように心がけましょう。
- ※料理のボリュームが分からない場合は、あらかじめ確認し、食べ残しがないようにしましょう。

ご家庭でできる
主な取り組みです。
みんなで取り組みば、
ごみの排出量の削減や、
資源化率が向上するよ。



○プラスチック容器の分別徹底

- ・プラマークがついているものは、資源ごみに出しましょう。
※容器包装プラスチック（ボトル、カップ、トレイなど）
- ・弁当容器など汚れたプラスチック容器は、軽く洗って資源ごみに出しましょう。



○過剰包装の抑制

- ・過剰な包装は断りましょう。

○生ごみの減量化

- ・生ごみは、徹底して水切りを行いましょ。

○エコショッピングの促進

- ・マイバックを持参し、レジ袋は使わないようにしましょう。
- ・なるべく詰め替え商品を購入しましょう。
- ・本当に必要なものか、もう一度考えましょ。
- ・フリーマーケットやバザーを利用ましょ。



○何か他の用途に使えないかを考え、修理しながら長く使いましょ

○一時的にしか使わない物は、レンタルやリースを利用ましょ

○その他

- ・マイ箸の持参やマイボトル・水筒などを利用ましょ。
- ・小売店等が行う拠点回収（紙パック、トレーなど）を利用ましょ。
- ・分類ごとにごみ箱を用意しておき、捨てるときに分別ましょ。

○小型家電回収ボックスを各総合支所などに設置しています

家庭用小型家電には、金や銀など資源を有効活用できる有用金属が含まれています。環境への負担を抑えて貴重な資源を回収ましょ。

《対象品目》

携帯電話、パソコン、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ラジオ、ゲーム機など

■投入口
ヨコ45cm×
タテ16cm

○スプレー缶の捨て方

スプレー缶は必ず使い切ってから、穴を開け、ガスが抜けたことを確認し、「燃やせないごみ」に出してください。

ガスを抜くときは「風通しの良い火の気のない場所」で行ってください。

